第28講　享保の改革

1　幕藩財政の窮乏（きゅうぼう）

①本質的要因

A　**農村における商業的農業の進展**

商品貨幣経済に巻き込まれ，農民の階層分化が進行。“1町10石の本百姓体制”が動揺し，**年貢の確保が不安定となる。**

B　**都市における消費生活の拡大**

諸物価の高騰（こうとう）・米価の相対的（そうたいてき）低下が進行。**年貢米の換金（かんきん）により消費物資を得る武士に打撃を与える。**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②幕府の財政難

A　**収入の減少**

あ　**本百姓体制の動揺による年貢収入の停滞**

い　主要鉱山からの金銀産出量の激減

う　鎖国後の貿易利潤(りじゅん)の減少

B　**支出の増大**

あ　**商品貨幣経済の発達による消費生活の拡大**

い　明暦の大火(1657年)後の江戸城・市街の再建費

う　５代綱吉の寺社造営・修築費

え　元禄期以降の奢侈(しゃし)生活，放漫(ほうまん)財政。

C　**対策**

あ　**借り上げ〔借知(しゃくち)〕**

家臣の俸禄(ほうろく)・知行(ちぎょう)を借り上げ，報酬(ほうしゅう)を削減。

☆俸禄の半分しか支給しない場合は**半知(はんち)**という。

い　**年貢の増徴(ぞうちょう)**

新田開発・殖産興業政策などによる。

う　商品作物生産の把握(はあく)

特産品への運上賦課，**専売制**の実施など。

え　三都を中心とする**御用商人への御用金・献金(けんきん)を賦課(ふか)**

お　**貨幣改鋳(かいちゅう)による出目(でめ)(差額収入)**

貨幣改鋳⇒物価高騰⇒領主財政窮乏⇒再度，貨幣改鋳の悪循環(あくじゅんかん)が発生。

D　**消極的対応策の限界**

積極的な幕政改革が必要となる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③諸藩の財政難

A　**収入の減少**

本百姓体制の動揺による年貢収入の停滞

B　**支出の増大**

あ　貨幣経済の発達による消費生活の拡大

い　**参勤交代やお手伝い普請(ぶしん)の費用捻出(ねんしゅつ)**

C　**対策**

あ　借り上げ〔借知〕

い　年貢の増徴

う　商品作物生産の把握

え　御用商人への御用金・献金賦課，**大名貸(がし)からの借金**

お　**藩札(はんさつ)の発行**

藩札発行⇒物価高騰⇒領主財政窮乏⇒再度，藩札発行の悪循環が発生。

D　**消極的対応策の限界**

積極的な藩政改革が必要となる。

---

④結果

A　**農民の負担増加・窮乏**

農村人口の停滞(ていたい)（＝都市への人口流入），**百姓一揆**の増加を招く。

B　**都市庶民の窮乏**

農村からの人口流入もあり，棟割長屋(むねわりながや)に住む小売商人・職人・日傭(ひよう)稼ぎが増加。天災・疫病(えきびょう)・飢饉・物価高騰などの理由で簡単に生活破壊に直面。

☆無宿人(むしゅくにん)・浮浪人が大量に発生，**打ちこわし**に参加し治安が悪化。

C　**武士の窮乏**

あ　生活苦

原則的に三都や城下町に居住，消費生活の拡大により困窮。

い　対応策

武具の売却・質入による**商人からの借金**，内職，養子縁組による御家人株（武士身分）の売却など。

☆**大名は大名貸，旗本・御家人は札差(ふださし)から借金**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈***Note***〉

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2　享保(きょうほう)の改革

はじめて御三家の**紀伊藩主**から**８代将軍**となった，**徳川吉宗**の治世（**1716年**～45年）。

①性格

A　復古理想主義

「諸事権現様(ごんげんさま)（＝家康）御掟(おんおきて)の通り」

B　財政再建を主眼とし，商業資本を掌握(しょうあく)。

☆地方で農村支配に優れた実績をあげた者を，積極的に登用。

---

②将軍親政の開始

A　**５代綱吉以来の側近(そっきん)政治〔側用人政治〕を廃止**

新井白石・間部詮房(まなべあきふさ)を罷免(ひめん)，譜代大名・旗本重視の将軍独裁政治を展開。

B　**積極的な人材登用**

あ　**大岡忠相(おおおかただすけ)**（旗本のち譜代大名）

町奉行のち寺社奉行・奏者番(そうじゃばん)に登用，町火消や小石川養生所(ようじょうしょ)の創設に尽力。

い　**神尾春央(かんおはるひで)**（旗本）

勘定奉行に登用，強力な年貢増徴策を断行。

☆「胡麻(ごま)の油と百姓は，絞(しぼ)れば絞るほど出(いず)る物也(なり)」―『西域(さいいき)物語』より―

う　**田中丘隅(きゅうぐ)**（東海道川崎宿(しゅく)の名主(なぬし)）

代官に登用，意見書『**民間省要(せいよう)**』を吉宗に献じる。

え　**荻生徂徠(おぎゅうそらい)（古学者〔古文辞学派〕・経世家(けいせいか)）**

吉宗の諮問(しもん)に答え，政治意見書『**政談**』を献じる。

お　**室鳩巣(むろきゅうそう)（朱子学者〔京学〕）**

吉宗の侍講(じこう)に登用，吉宗の命(めい)により民衆教訓書『**六諭衍義大意(りくゆえんぎたいい)**』を著す。

---

③封建(ほうけん)道徳の強調

A　武士

武芸・水練(すいれん)の奨励，鷹狩(たかがり)の再興など

B　民衆

寺子屋教育における封建道徳の強調

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④政治の刷新

A　行政機構の改革・代官の綱紀粛正

B　**武家諸法度・朝鮮通信使の待遇を綱吉期と同様に戻す**

C　**相対済し令**　(1719年〜)

裁判事務の簡素化を目的に，金銀貸借・売掛金等の訴訟〔金公事〕の不受理を通告。借金を踏み倒す者が続出し，結果的に窮乏する旗本・御家人の救済手段ともなった。

D　**目安箱の設置**　(1721年)

評定所の門前に設置。記名制で将軍自ら庶民・牢人の意見を聞く。

☆**町火消**(いろは四十七組)，**小石川養生所**の設置(小川笙船の提言)などが実現。

E　**足高の制**　**(1723年)**

役職の標準石高〔役高〕(大番頭＝5000石，大目付・町奉行・勘定奉行＝3000石など)を決め，**家禄に対する不足分〔役料〕を在任中のみ支給**する制度。

☆**少ない財政負担による，旗本の人材登用が目的。**

F　**公事方御定書**　**(1742年)**

従来の法令・判例を集め，裁判・刑罰の基準や連坐制の緩和などを定める。

☆上下巻に分かれ，刑法・刑事訴訟法となる下巻は『**御定書百箇条**』とよばれる。

G　御触書寛保集成(1744年)

元和期〜寛保期までの，幕府の御触書を集めたもの。

☆のちの宝暦期・天明期・天保期を含め，計4度集成された。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤財政の再建

A　倹約令

支出の抑制，生活の緊縮，士風の引き締めを命じた。

B　勝手掛(かってがかり)老中の復活

正徳の治では一時廃止されていたが，松平乗邑(のりさと)を就任させた。

C　**上げ米(まい)（1722年）**⇒31年に廃止

大名から１万石につき100石を上納させるかわりに，参勤交代の江戸在府期間を半年に短縮。

☆年間約18万7000石の増収（天領の年貢収入の１割以上）となり，**幕府財政は一時的に回復。**

D　**流地(りゅうち)禁止令〔質流しの禁令〕（1722年～23年）**

本百姓体制の維持をはかり，**田畑の質流しによる実質的売却を禁止。**

☆これを徳政令と独断した農民により，越後頸城(くびき)〔高田〕や出羽長瀞(ながとろ)で**質地(しっち)騒動**が置きたため，翌年には廃止された。

E　天領における**定免法(じょうめんほう)・五公五民の採用**

従来は**検見法(けみほう)**で，基本的に**四公六民**であった。

☆**財政の安定と増収が見込め**，代官の不正も防止したが，農民間の貧富の差を拡大させることにもなった。

F　**株仲間の公認**

間接的な物価・流通統制をはかるため，あえて独占的な営業を認めた。

G　**米価の調節**⇒吉宗は**“米公方(こめくぼう)〔八木(はちぼく)将軍〕”**とよばれる

大坂堂島(どうじま)の米市場を公認（1730年）するなど，さまざまな政策で「米価安(べいかやす)」「諸色高(しょしきだか)」の打開をはかった。

H　元文(げんぶん)金銀〔文字(ぶんじ)金銀〕への改鋳(かいちゅう)（1736年）

享保の飢饉（1732年）による米価高騰(こうとう)に対応し，享保金銀に比べ量・質ともに半分に落とした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥殖産興業

A　新田開発の奨励

日本橋に高札(こうさつ)を立て，**町人請負(うけおい)新田を奨励**(1722年)

☆武蔵野新田・見沼新田(武蔵国)，**紫雲寺潟(しうんじがた)新田(越後国)**などが実現したが，期待したほどの効果はなかった。

B　商品作物栽培の奨励

甘藷(かんしょ)〔さつまいも〕，**甘蔗(かんしゃ)〔さとうきび〕**，櫨(はぜ)〔蠟(ろう)の原料〕，朝鮮人参(にんじん)など

☆甘藷の栽培は，**青木昆陽(こんよう)〔甘藷先生〕**が提案。

C　実学(じつがく)の奨励

あ　**漢訳(かんやく)洋書輸入の禁を緩和(1720年)**

禁書令(1630年)を改め，**キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入を許可。**

い　**青木昆陽・野呂元丈(のろげんじょう)にオランダ語を学ばせる**

青木昆陽は『和蘭文字略考(オランダもじりゃくこう)』，野呂元丈は『阿蘭陀本草和解(オランダほんぞうわげ)』を著し，洋学〔蘭学〕勃興(ぼっこう)の契機となる。

---

⑦結果

A　幕府財政の一時的再建に成功

御三卿(ごさんきょう)〔田安(たやす)家・一橋(ひとつばし)家，のちに9代将軍家重の時に清水家〕も新設した吉宗は“幕府中興(ちゅうこう)の祖”とされる。

B　**享保の飢饉(ききん)(1732年)**・年貢増徴・緊縮財政の悪影響

百姓一揆が頻発(ひんぱつ)，江戸で初の打ちこわしも起こる。

C　封建社会の矛盾(むじゅん)が激化

積極的な改革により，幕藩体制の限界が露見(ろけん)。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第28講　確認テスト

1　1716年に就任した８代将軍吉宗は，何藩の出身であったか？

①　尾張藩　　②　紀伊藩　　③　水戸藩　　④　甲府藩

2　吉宗の下で，山田奉行から(江戸)町奉行を経て奏者番・寺社奉行へ，旗本から譜代大名に出世した人物とは？

①　松平乗邑　　②　大岡忠相　　③　神尾春央　　④　荻生徂徠

3　従来の判例を集め，裁判･刑罰の基準や連坐制の緩和などを定めた法令とは？

①　諸士法度　　②　御触書寛保集成

③　公事方御定書　　④　新律綱領

4　裁判事務の簡素化を目的に金銭訴訟〔金公事〕の不受理を通告し，結果的には窮乏する旗本・御家人の救済措置ともなった法令とは？

①　借り上げ〔借知〕　　②　相対済し令

③　流地禁止令　　④　棄捐令

5　吉宗が禁書令(1630年)を改め，「漢訳洋書輸入の禁」を緩和した年とは？

①　1720年　　②　1722年　　③　1732年　　④　1742年

6　1721年，将軍が直接庶民の意見を聞くため，評定所の門前に設置されたものとは？

①　陣屋　　②　町会所　　③　目安箱　　④　寄場組合

7　1722年～30年，「大名から１万石につき100石を上納させるかわりに，参勤交代の江戸在府期間を半年に短縮する」という施策とは？

①　足高の制　　②　上げ米　　③　棄捐令　　④　上知令

8　吉宗が日本橋に高札を立てて募集し，開発を奨励した新田とは？

①　土豪開発新田　　②　代官見立新田

③　村請新田　　④　町人請負新田

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

9　足高の制を建議した，『六諭衍義大意』の著者でもある京学の朱子学者とは？

①　木下順庵　　②　新井白石　　③　雨森芳洲　　④　室鳩巣

10　天領〔幕領〕の年貢算定法が検見法から定免法に変更された際，新たな基準税率となった数値は？

①　二公一民　　②　四公六民　　③　五公五民　　④　六公四民

11　1732年から西日本一帯で始まった飢饉とは？

①　寛永の飢饉　　②　享保の飢饉

③　天明の飢饉　　④　天保の飢饉

12　さつまいもの栽培を提案し，“甘藷先生”とよばれた国学者・蘭学者とは？

①　青木昆陽　　②　野呂元丈　　③　佐藤信淵　　④　緒方洪庵

13　1736年，享保小判から改鋳された貨幣とは？

①　元禄小判　　②　正徳小判　　③　元文小判　　④　万延小判

14　“米公方”吉宗の後を継いだ９代将軍とは？

①　家重　　②　家治　　③　家斉　　④　家慶

15　厳密には親藩大名ではない，御三卿筆頭となった14の弟とは？

①　徳川義直　　②　田安宗武　　③　一橋宗尹　　④　清水重好

解答

1	②	2	②	3	③	4	②	5	①
6	③	7	②	8	④	9	④	10	③
11	②	12	①	13	③	14	①	15	②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。